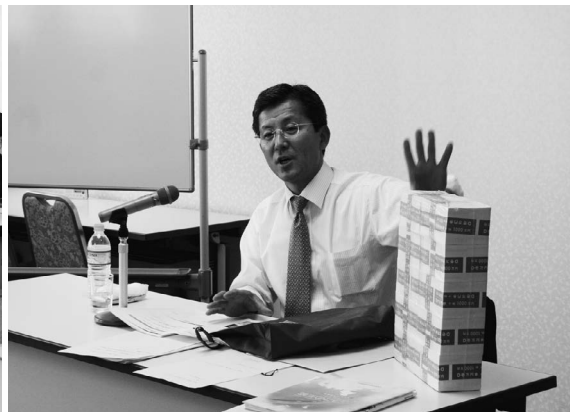




兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2011 **1**



2010年11月29日(月) 兵庫県民会館にて「金融・経済・社会状況学習会」を開催しました。(関連記事P.16)



兵庫県生活協同組合連合会 会長理事

浅田 克己
(あさだ・かつみ)

原点に立ち返り、 くらしと地域への貢献を誓おう

新年おめでとうございます。

昨年は兵庫県生活協同組合連合会が創立60周年を迎えた節目の年でした。また一昨年は、社会運動家・賀川豊彦が生活困窮者の支援に一身を捧げようとして神戸の地に飛び込んでからちょうど100年目にあたる年でした。戦後の混乱期のなかでこの連合会を立ち上げた先輩たちの熱い思いや賀川が生協に託した希望にあらためて触れ、生協運動の役割と使命を心に刻む機会を多くもった年でした。

今日、私たちの暮らしを取り巻く環境はいっそう厳しさを増しています。長引く不況のなか、雇用と所得をめぐる不安は一向に解消されず、医療や年金、介護など老後を支えるはずの社会保障制度への不安も高まっています。社会全体に閉塞感が漂い、若者たちにとっても将来への希望がもてない状況が広がっています。

賀川の時代や60年前の混乱期と今とは、まったく様相は異なりますが、この状況はまさに「くらしの危機」と捉えるべきであり、私たち生協の使命は、これらの不安を協同の力ではね返し、くらしの中に安心を取り戻していくことに他ならないといえます。

国連は2012年を国際協同組合年とすることを決めました。これは生協

をはじめとする協同組合の仲間がこれまで築き上げてきたさまざまな実践とその成果が高く評価された結果であり、これからの時代を見通すとき、助け合い、分かち合うこと、すなわち「協同の原理」を社会に据え直さなにかぎり私たちのくらしの再生は叶わないという認識があるように思えます。社会の強い期待を背負って、今、生協は大きな出番を迎えています。寄せられている期待と役割にしっかりと応える責任が私たちにはあるのです。

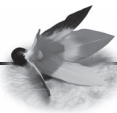
くらしの危機は、そのまま生協の経営にも危機をもたらしています。多くの改革課題をかかえています。これらの一つひとつを確実にやり遂げると同時に、生協の原点に立ち返り、組合員の願いに沿った「生協らしい事業」を実践することで、この危機を未来への発展の機会に変えていかなければなりません。兵庫県生協連に集う皆さんは、購買や医療、保険、福祉、共済などそれぞれの事業領域で連日奮闘され、素晴らしい活動を地域で実践しておられます。私たちのこれまでの歩みに高い誇りを持ち、くらしと地域に貢献し続けられる生協をめざし、今年もご一緒に、そして明るく全力で頑張ってくださいませ。

CONTENTS

- 2. 想点
- 3. 会員生協・新年の抱負
- 14. 会員生協のご紹介
- 15. 第3回 理事会報告／
2010年度「兵庫JCC協同組合研究・交流会」のご案内
- 16. 金融・経済・社会状況学習会／
兵庫県・兵協連 共催 監事研修会
- 17. 単協通信 コープこうべ／甲南女子大学生協
- 18. 協同組合のかけ橋
- 19. 兵庫県のページ
- 20. NPO法人ひょうご消費者ネットシンポジウムのご案内／
ひょうご消費者セミナー2010のご案内
県連日誌／編集後記



2011年 今年の抱負



未来づくり、組合員とともに



生活協同組合コープこうべ
常務理事
秦 正雄

新年あけましておめでとうございます。
コープこうべは昨年、新中期計画(2010年～2015年)をスタートしました。

この新中期計画は今日の激変する組合員のくらしや社会環境変化への対応で、生協の事業が継続発展していくことを目的としています。初年度は店舗事業の事業構造改革やコープ商品の開発など、組合員のくらしのニーズに対応する様々な商品やサービスを提供してきました。店舗では快適に安心して買い物できるレベルに、宅配事業では組合員との約束がしっかり守られることなど基本的な向上をめざしてきました。商品開発では兵庫県の「コープスひょうご発」シリーズの開発をしました。また、くらしの安心では、西宮市との連携で高齢者同士の支援活動「シニアサポート事業」を開始しました。1月からは同じ西宮市で「夕食宅配」を展開していきます。このように時代への変化対応と生協らしい事業を追求してきました。

今年、コープこうべは創立90周年を迎えます。4月からは大阪北生協と合併スタートです。新たな気持ちで組合員とともにくらしに役立つ生協づくりに向けて事業をひとつ一つ丁寧に進めてまいります。



生活クラブ生活協同組合
都市生活
理事長
山田多美子

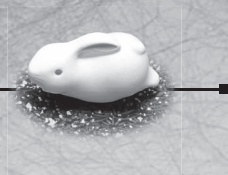
25周年・14000人の ほっとコミュニケーション

あけましておめでとうございます

私たちは、昨年6月の総代会にて今までのすめてきた運動と事業を、より発展させていくために生活クラブ連合会加入を決議しました。それにともない、名称を「生活クラブ生協都市生活」に、カタログ名称も「きらり」から「L i v E L Y (ライブリー)」に変更しました。

組合員は、新しい消費材がたくさん登場しワクワクする反面、カタログが変わったことに少し戸惑いも出ています。この戸惑いを乗り切り、国内自給方向上、環境への配慮、遺伝子組み換え原料の不使用など私たちの理念を実践していくためには利用結果が必要です。個人配達が増えるにつれ組合員のコミュニケーションが少なくなっていることから、設立25周年を迎える今年には、組合員活動の原点にもどり【25周年・14000人のほっとコミュニケーション】と題し、私たちの理念やめざすことを多くの組合員と共有し、新しい消費材の学習会や試食、生産者交流などを中心にした集まりを地域で多く開催し組合員のコミュニケーションに力を入れていきます。





生活協同組合
コープ自然派兵庫
専務理事
西村明彦

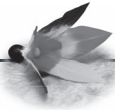
学びを大切に

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、組合員の暮らしにとって厳しい状況が続きました。平均給与が下がり、失業率は高止まり、高校・大学新卒者の内定率は史上最悪。一人当たり供給高の低下という形で生協事業にも大きな影響がありました。

選挙での公約を反故にし「政権交代」に託した民意をないがしろにする菅政権の責任は重いと感じています。また日本の農業の将来を決めかねないTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）のような重大な問題が唐突に提案されたり、「開国か、鎖国か？」の二者択一しか選択肢がないかのような新聞・テレビの報道にも危うさを感じています。

現下の情勢ではTPPの問題や例えば六ヶ所村再処理工場をめぐる問題など、これからの暮らしに大きな影響を与える大切な問題に関して、学習会など組合員が自ら学び、判断するための機会を提供することも生協の大切な役割だと感じています。



生活協同組合連合会
コープ自然派事業連合
理事長
大川智恵子

有機で町を元気に！

新年おめでとうございます。

猛暑に豪雨、巷に出没する熊や猪、口蹄疫など、昨年もいろいろなことがありました。また、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）問題がにわかに浮上、日本農業は存亡の危機に立たされています。各国で温暖化による農作物不作が報じられる中、すぐにでも経済至上主義から自然共生型へ転換しなければ、生命さえ危ぶまれる状況です。

コープ自然派では「食の安全のために、農業を守り、環境を守る」と、有機農業を推進。昨秋、農水省の補助事業で徳島県に「小松島有機農業サポートセンター」を設立しました。全国初の有機の苗づくりと有機農業を学ぶ研修施設としてスタート、地域の環境改善と経済活性化に貢献しています。豊岡市の「コウノトリと共生する」取り組みとの連携が実ったものとも言えるでしょう。2月には徳島市で第6回GMOフリーゾーン全国交流集会も開催されます。今年もどうぞご協力よろしくお願い申し上げます。



兵庫県学校生活協同組合
副理事長
加賀晴彦

新年の抱負

新年明けましておめでとうございます。

国内の経済・社会情勢は、依然としてデフレや厳しい財政状況が続くなかで、組合員をとりまく環境も厳しさを増しています。

昨年は、これまで自主供給事業の中心となっていた職場・家庭班共同購入を終了させることとなり、当学校生協にとって大きな変革の年になりましたが、職員が一丸となり、新たな事業の推進に取り組みしました。

また、学校生協型連帯（ガッコープ事業連合）に参画して、他県の学校生協と企画や物流を統一することにより、そのスケールメリットを活かした新規企画の実施や物流の改善を図りました。

本年も引き続き「安全・安心」を基本理念に、組合員のくらしをサポートする事業推進に努めるとともに、厳しい社会の環境変化にも対応できる運営を目指し取り組んでまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。





新年を迎えて



神戸大学生協同組合
専務理事
末松泰信

新年明けましておめでとうございます。昨年、巷で溢れ返るほど「厳しい」という言葉が聞かれた年でありました。年が明けて急速な回復に転じるとは思えませんが、何事においてもポジティブな姿勢で臨むような一年でありたいと思います。

大学生協では、構成員とりわけ学生の経済的な苦しさ、大学自体の環境変化、学内外を問わず市場との競合が激化するなどの状況の中、設備や新しい事業への投資、貢献活動への支援など行いながら、なんとか踏ん張っているのが現状です。

しかし、一方で、「安心・安全」もとより、「キャリア教育の重要性」「国際・社会・地域的な貢献」をも求められています。決して樂觀できない経営環境に置かれているのは事実ですが、受身の姿勢ではなく、「これからどうしていくのか」という強い意思を持って行動を起こし、「組合員満足の追及」のための努力と工夫を重ねることで、求められる役割を果たしきり成果を残したいと思えます。本年もよろしくお願いたします。

新年の抱負



関西学院大学生協同組合
専務理事
高橋秀行

新年明けましておめでとうございます。大学生協を取り巻く環境は、2010年も大変厳しいものでした。好転しない不況の中、学生の可処分所得は減少し、店舗や食堂の利用が下落傾向にあります。また、一年の損益を左右する新入生向け事業も計画を下回りました。

現在、悩みを抱える学生や、様々な理由で学業を断念しなければならぬ学生、将来への不安を抱える学生が増えてきています。大学生協は「お互いを思いやり、助け合うコミュニティ」としての役割、「語り合い、学び合い、お互いを高めていくコミュニティ」としての役割、「人間力を造っていくサポーター」としての役割「が求められていると思えます。ここに重点を置き、新たな事業を構築していきたいと考えています。

皆様のご指導・ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



組合員と共にある生協を目指して



神戸市外国語大学
消費生活協同組合
専務理事
関 浩二

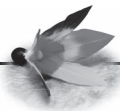
新年明けましておめでとうございます。2007年以來の大規模設備投資にかかる償却も山は越えました。さまざまな取組みによる経費削減策が功を奏し、また、供給剰余率の向上、手数料の改善など、今後より一層の損益改善を計って行ける状況となりつつあります。

ここで、さらなる飛躍を実現するために、組織へ新しい風を吹き込むのいいかも知れません。

私事で恐縮ですが、この3月より大学生協神戸事業連合へ異動する事となりました。専務理事就任より10年が過ぎ、ちょうどいい区切りのような気も致します。

長年にわたる、皆様からの暖かいご指導・ご鞭撻に心より感謝致します。本当にありがとうございます。

今後とも外大生協へのご支援の程、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。





甲南大学生協同組合
専務理事
内田真紀子

Each for all for each

新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年10月より甲南大学生協の専務理事に就任いたしました。2010年度の甲南大学生協では、新キャンパス投資分の回収が予測よりも厳しく、決して順調な経営状態とは言えませんでしたが、そんな厳しい状況の今だからこそ、職員チームワークが試されているとも感じます。

2011年度に向けては、生協の理念に立ち返り、「Each for all, all for each」の言葉が入った新しいロゴマークを作成しました。

大学生協は毎年組合員の四分の一が卒業し、入学することで変化します。変化する組合員に対して常に「今の組合員」に向き合っていくことが必要になってきます。「今の組合員」に対して価値、必要性、求める満足にどこまで応えられるか。生協も変わらないといけません。

新しい事業提案、投資も必要となっています。このことは、「みんながひとりのために、ひとりがみんなのために」という生協の理念に基づいての変化です。私たちにはたくさんの競合がいて、競合への対策のための変化も進んできません。ただ今後は、私たちの最大の敵は、理念を忘れた、形だけの変化へ方向が曲がってしまうことかもしれません。

甲南大学生協の2011年度は、甲南大学の組合員にいかにも近く、向き合っていくのか、新しいロゴマークを近い場所に置き、生協の価値を組合員とともに改めて見直していくことだと考えています。



新年にあたって

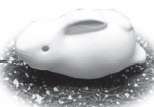
あけましておめでとうございます。
本年もよろしくご指導下さいませすようお願い申し上げます。

大学の動向を言えば、「県立大学の自律性を高め、業務運営の効率化を図り、学生や地域にとって魅力ある大学づくりを推進することを目的として、平成25年4月を目的に公立大学法人への移行を検討する。」ことが県より提起され、学内で検討が開始されました。どのように具体化されてゆくのかはまだ分かりませんが、学内で唯一の経済組織である生協の特色を活かした役割発揮ができるよう対応してゆく考えです。

また、学生のスキルアップ、キャリア支援、就職支援などの企画・事業についても、大学と充分に連携したプログラムを準備し、上回生になって就職活動をうまくスタートできるようサポートしてゆく計画です。今年度から新組合員証に切り換えをします。ポイント付きのプリペイドカード機能も備えたもので、より一層使い易くする計画です。このような1年になりそうです。応援をお願い致します。



兵庫県立大学生協同組合
専務理事
東原洋二



神戸薬科大学生活協同組合
専務理事
隅田幸博

新しい取り組みにもチャレンジ

新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

薬大も6年制となり、2011年度は新入生を迎えると6学年すべてが揃い、更に学生数が増加します。これまで4学年で利用していた食堂を6学年で利用するわけですから、混乱が予想されます。生協ではスムーズにご利用いただけるように、食堂の出食カウンターでの配置換えや、新しい形でのミール年間定期カードの導入によるレジの混雑緩和を予定しております。6年制に向けて、先駆けてオープンしたフードショップ・クラブ店の更なる充実をはかり、忙しい組合員のニーズにこたえるべくサポートできるよう努力しております。また県からの依頼を受け、新たな試みとして、大学生のための消費者セミナーの開催・ヤングクリエーターの養成、少子化対策の取り組みを大学と協力し、行っていく予定です。

今年も県連会員の皆様のご支援とご指導を宜しくお願い申し上げます。





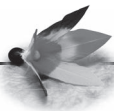
神戸親和女子大学
生活協同組合
専務理事
今村奈星

大学生協が未来に向けてできること

新年あけましておめでとうございます。昨年は大変な就職難で、大学生の2人に1人ぐらいしか就職できないといった状況の中で、先行きの不安感ばかりが募っていったように思います。また、外国との関係も大きく動いた年でもありました。一昨年、政権交代をし、日本は大きな転換期に来ているのかもしれない。

このように、激しい流れの中で生きていかなくてはならない現代社会で、次の世代を担う大学生に大学生協としてなんとか力になりたいと願っています。その一環で、兵庫県との提携事業が進んできています。若者が安心して結婚し、子育てができる社会をめざして「婚育」事業を、消費者被害をなくすためのアドバイザー的な役割としてのヤングクリエーター養成などを協力して行っています。神戸親和女子大学生協では、「婚育」事業として料理教室の中で、結婚や子育てについて話し合ってもらったり、アンケート調査などを行いました。今年はヤングクリエーターの養成に力を入れていく予定です。

神戸親和女子大学生協を卒業する組合員の皆さまには、この現代の荒波を強く、しなやかに乗り切っていただきたい。そのお手伝いを大学と一緒にできればと思います。



輝かしい大学生協の未来のために

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年、この「兵協連だより」の新年の抱負で2010年は、前年度から取り組んでいる運営体制の改革を完成させる年と述べていただきました。2009年度に累積欠損を抱える状態に陥りましたが、年度末に向け、一年で赤字を解消できる目処が見えてまいりました。

大学生協神戸事業連合加盟の各大学生協をはじめ各方面からご支援をいただきました。陰で、一定の成果を収めることができました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

具体的には近隣にある園田学園女子大学生協と業務・運営の各面で連携することにより、西宮と伊丹の二つの店舗を一人の店長が統括して運営する体制ができました。これにより組合員へのサービスが低下しては本末転倒ですが、組合員の日々の店舗利用は伸長傾向にあります。

今年度も息つくことなく、さらに組合員から支持いただける大学生協を作っていく活動に取り組んでいきたいと思えます。



大手前大学生協同組合
専務理事
池上正寿



園田学園女子大学生協
専務理事
藤井貴浩

これからの大学生協のために

新年あけましておめでとうございます。昨年は、現状を打破するために様々なことを試行錯誤した一年でした。

近隣の大手前大学生協との業務・運営連携をはじめました。大学生協の運営を、各単協ごとではなくエリアで捉えてみようという試みです。具体的には、私が両単協の運営を担当することなのですが、何か効率化につながることはないか、ダブルコストの削減になるものはないかと日々悩みながら進めています。

おかげさまで何とか皆さまにご迷惑掛けることなくこの取り組みは進んでいます。

特に小規模大学生協では、それぞれの職域である大学そのものが少子化のあおりを受け、学生数減などで経営が厳しくなっています。「点ではなく面」、これこそ連帯の真価が問われるのではと考えています。

また、今年の総代会には、組合員組織である学生委員会が原案を作成した「園田学園女子大学生協 ビジョンとアクションプラン」を提案します。

学生と一緒に、大学に貢献できるよう、力強く進んでいく所存です。





甲南女子大学生生活協同組合
理事
塩田 恵美

つながりの強化と視野の拡大を

新年あけましておめでとうございます。

2010年度は、なおも「就職難」が叫ばれる年だったと思います。現役の社会人ですら将来に不安を覚える中、これからそんな社会に出ようとしている大学生の不安や焦燥ははかり知れません。しかしだからこそ、キャンパスで過ごす4年間が、今を悲観するのではなく厳しい現実に向かえるプラスのパワーを蓄える時期になればと思います。現在も社会貢献活動や国際貢献活動に取り組んでいる学生は多く存在しますし、「大学の中にある大学生のため」ではなく「社会で活躍する大学生のため」に何ができるのか、大学生協としての視野を広げていくことが求められます。

甲南女子大学では、2011年度より学生証と生協組合員証が一体化となります。今以上に大学と協力し合い、組合員との関係が密接なものとなるよう、努力していくことが必要です。2010年度に引き続き広報面への投資にも力を入れ、多くのことを全ての組合員に伝えていこうと働きかけることが明るい将来につながると信じて活動していきます。人と人とのつながりの力を実感し、元氣な組合員が増えていくことを願っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



生活協同組合連合会
大学生協神戸事業連合
専務理事
寺尾 善喜

「ハッピー事業連合」の結成を

「協同組合は、組合員にもっとも効果的に役立ち、また協同組合運動全体を強化するために、地区内で、全国的に、国際的なネットワークで、さらには世界的な規模で、その連帯の仕組みを通して互いに連携・協力する。」これは協同組合原則の第6原則です。大学生協事業連合も当然のことですが、会員生協が創り上げてきた「連帯の仕組み」であり、組合員にとって、大学にとって、地域にとつての「公器」であると認識しています。

組合員にとつてのさらなるお役立ちの実現、会員生協におけるビジョン実現を通じた協同組合運動の強化のために、本年、神戸事業連合と大阪事業連合の組織統合による、兵庫・大阪・和歌山3府県にまたがる「阪神事業連合（仮称）」の立ち上げを目指します。

組合員から頂戴した元氣の出る激励の言葉。「新しい事業連合は、学生のための『ハッピー事業連合』であって下さい！」を忘れずに。



神戸医療生活協同組合
理事長
道上 哲也

50歳になりました！

新年おめでとうございます。

私たち神戸医療生活協同組合は今年創立50周年を迎えます。

現在、組合員からメタボやがんで悲しむ人をなくそうと「50周年記念健診」を低価格で実施しています。また1月には記念レセプション、3月には発祥の地長田区で記念のフェスティバルを企画しております。お時間があればぜひともご参加していただければ幸いです。さらには記念誌の発行など歴史を掘り、きちんと残そうと準備を進めているところです。

50年を振り返る作業をつうじて多くの教訓に学び、組合員・役員とともに一回り大きな医療生協にしようと頑張っております。

今後とも仲間の生協、先輩生協の皆様方からの暖かいご支援をよろしく願っています。

年々私たちの生活は厳しくなっておりますが、今年こそ良い一年だったという年にしたいものです。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。





求められる人づくり



尼崎医療生活協同組合
理事長
船越正信

新年明けましておめでとうございます。昨年は国民の期待を大きく裏切る政権運営で明け暮れました。医療制度、年金問題、雇用情勢、沖縄米軍基地問題……国にとっての課題は山積しています。

尼崎医療生協では昨年「いのちの平等」を合い言葉に、生協活動を展開してきました。「無料・低額診療事業」では、全国の医療生協に先駆けて取り組み、経済的に医療にかかることが困難であった多くの方の医療への継続の道を守ることが出来たのではないかと考えています。

一層高齢化が加速していく中での今の国、市の状況を考えると、ますます私たち医療生協に求められる役割が増強すると思われれます。この数年私たちは医療・福祉の拠点となる施設の充実拡大を精力的に押し進め、「虹のネットワーク」として整備してきました。これからはその施設体系に見合った一層の人づくりが急がれる課題と考えています。これからも宜しくお願い致します。

光は東方より



阪神医療生活協同組合
理事長
中村大蔵

また、尼崎が世間の耳目を集めた。新しい市長に女性が就任。しかも史上最年少の女性市長。これで「史上最年少」女性市長が連続誕生した。

前市長は尼崎の知名度を釜ヶ崎と逆転させ、尼崎のイメージを大きくアップさせた。新市長に期待するものも多い。

しかし、わが国でトップへの女性進出はまだまだの感がある。生協の場においても、またしかりである。

「天の半分は、女性が支える」とはひと時よく聞かされたフレーズである。

生協活動に即して言えば、「三分の二以上を女性が支えている」。わが阪神生協でもそれが現実である。

あらゆる社会に女性が進出して、世の中が大きく変わり始めたのも歴史が示すところである。

兵庫の東玄関、尼崎での新しい波を医療生協の活動でも興じていきたいと思う。

古いラテン語にある「法は西方より、光は東方より」に習いて。



「健康守る」医療生協へ



兵庫医療生活協同組合
理事長
竹本貞雄

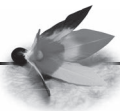
明けましておめでとうございます。

政治の世界では、内外に多くの課題を抱えた菅内閣の悪戦苦闘が続いています。日本の経済情勢は、なかなか好転せず、雇用情勢も厳しく中高年令者はもとより、新卒者も例外ではありません。社会全体が安心出来る状況にはほど遠いといえます。

医療分野も、自己負担額によって必要な検査も受けたくない人や受診抑制する人などもあり、安心できる医療制度ではありません。「後期高齢者医療」から新たな医療制度への転換がはかられても『安心出来る医療制度』になるとはいえません。

兵庫医療生協は、厳しかった経営からようやく健全経営になり、昨年四月から新所長になって、順調な状態で新年を迎えることができました。

そして、昨年一〇月から『禁煙外来』を開設し「健康を守る」取組みをはじめました。小さくても「健康守る医療生協」めざして、組合員や地域の人達にはたらきかけを行っていきます。





宝塚医療生活協同組合
理事長
茅野涼一

医療福祉生協連合会の発足に 期待を込めて

新春のお喜びを申し上げます。
マニフェストに医療や福祉の充実を掲げて
政権交代を訴えた民主党政権は、国民の大き
な期待を受けてスタートしましたが、後期高
齢者医療制度の廃止も実行せず、多くの国民
が「落胆と無力」感を持ち始めています。そ
んな中、日生協医療部会は、新全国組織（日
本医療福祉生活協同組合連合会）を昨年一〇
月に発足させました。新組織は「理事会」機
能を持ち、理事会で決めたことを、全国にア
ピールできるようにしました。当医療生協
は、この全国組織に結集し、新組織の発展と
前進に期待するとともに、その責任と活動の
一端を担う決意をしているところです。
当医療生協は、地域の皆さんや組合員さん
の期待に応え、経営の安定に努力しながら、
更に利用者さんに喜んでもらえる組織にして
行きたいと思っています。
皆様のご多幸を祈念し、ご家族の健康増進
に寄与できる組織でありたいと思います。



姫路医療生活協同組合
専務理事
黒岩勝博

「地域包括ケア」推進の1年に

新年おめでとうございます。
昨年は、通常総代会で「地域の介護力・保
健力を高め、地域包括ケアをひろげよう！」
をテーマにかかげ、地域包括ケアに取り組ん
できました。
介護事業では、当生協3番目の小規模多機
能ホームさろお、デイサービスさろお、当生
協2番目の福祉用具レンタル事業所を開設し
ました。デイケアは短時間型に変更し、リハ
ビリに集中できる環境づくりをおこないまし
た。医療事業では、共立病院で在宅療養支援
病院の施設基準をとり、地域連携室の体制強
化も含め、在宅患者様の24時間365日の
サポート体制をより強化しました。
また、組合員による健康づくりや介護予防
の活動をひろげながら、くらしの助け合いや
ボランティア活動もすすみました。
今年も、地域包括ケアをいっそう推進する
1年とします。3月には当生協4番目の小規
模多機能ホーム城北を開設します。組合員、
地域住民の皆さまとともに、地域で「ケア付
きコミュニケーション」づくりを目指します。



ろっこう医療生活協同組合
専務理事
金丸正樹

「二万人の組合員」の実現を

新年にあたり、この一年の抱負を申し述べ
ます。
昨年は、当生協創立30周年の年として様々
な記念事業を組合員・職員が一体となって取
り組みました。
事業分野では、「地域包括ケア」の実践と
して小規模多機能型居宅介護事業所である
「小規模多機能とががわ」建設をみんなでや
り上げました。
とくに出資金を3千万円集め、建設費用の
半額をまかなうことができました。いよいよ
今年1月から稼働開始です。活動面でも、
NPT派遣の取り組み、記念式典の開催、記
念誌作成を成功させました。
これらは年をまたいで、今年2月に「芸術
& スポーツフェスタ」、3月に「ピリバン
バン・コンサート」と続きます。
大切なことは、この記念事業を単なる節目
のイベントに終わらせず、取り組みを通じて
私たちの生協を多くの人々に知ってもらい、
仲間を増やし、助け合いの気持ちを地域に広
めることです。
今年も、そうした昨年の流れと勢いを引き
継いで、あと千人となった「二万人の組合
員」を是が非でも実現したいと思えます。





たじま医療生活協同組合
副理事長
千葉 裕

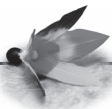
耳と足 頼りに兔年^{うさぎ} 生きのびる

冒頭の句は、わが組合員の川柳作家西村昭治さんが、年越しそば会で詠まれた句です。兔年にふさわしく情勢を見極め、行動する年でありたいと願っています。

さて、当医療生協も昨年度には累積赤字を解消し、堅実に黒字経営を進めています。これもひとえに他の医療生協の応援とご協力の賜物と喜んでいきます。

特に、医療では東神戸病院の郷地先生が在宅医療重視の方針を出され、現在の藤井先生に引継がれ、地域のくらしに貢献していることが大きいと思います。また姫路医療生協の河本常務が介護事業の展開こそ状況を切り開くと、台風二十三号被害後の生協運営に悩む我々に示唆されたことが、今の状況を生んだと感謝しています。

今年度の仲間増やし、出資金増やしの運動は、はじめて目標を突破し、組合員も三千人を越えました。長期計画も地域のニーズを見極めようと策定中です。地域で頼りになる医療生協をめざして今年も頑張りたいと思います。



新年を迎えて



神戸市民生活協同組合
専務理事
竹中幸雄

謹んで新春のお喜びを申し上げます。わが国の経済は、一時期の落ち込みからの回復傾向にも鈍化がみられ、所得の伸び悩みや消費の落ち込みなど、引き続き不透明な状況が続くと思われれます。

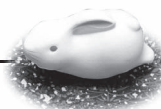
そのような状況のもと当生協は、組合員や総代の方々の意見を活かした事業運営・商品開発を組織の目標と定め、一昨年に実施した機関紙送付を継続するほか、昨年は組合員アンケートを行うとともに地区別総代懇談会を実施しました。

具体的には、組合員の方々のご要望の強かった、がん保障の充実と日帰り手術を対象に含めた医療共済新商品を昨年夏に発売しましたが、今後とも組合員の声を大切にしていきたいと考えています。

また、地域の方々の生活文化の向上と地域活動の推進に寄与するため、地域活動助成事業を開始し、婦人会や消防団等当生協とつながりの深い地域団体との関係強化に取り組んでいます。

これからも、当生協は「支えあい・助けあいの市民共済」を基本理念として、身近な地域に根ざした共済生協として事業活動を行ってまいります。

本年も皆様方のご指導・ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。



尼崎市民共済生活協同組合
常務理事
小寺敬二

年頭にあたって

新春のお慶びを申し上げます。

昨年、気象庁は昨夏の猛暑を異常気象と認定しました。こうした地球環境が大きく変わる中、健全な生態系が持続するようにと、生物多様性条約第10回締約国会議が愛知県で開催されました。また、平成19年に開催された愛知万博では、地球環境問題をテーマとした国際フォーラムが行われ、「里山文化の継承が、持続・循環を重視する『共生』への鍵である。」と宣言されました。

「里山」は、人里近く、人のくらしと密接に結びついている山・森林であり、私達には、今、こうした人・物・命を結びつける里山の豊かさを必要としているのかも知れません。

本年はうさぎ年、「卯の刻は午前6時を中心の約2時間、特に、夜明けの6時は正卯、そして、卯の方は東の方向」、正に、混乱する時代にあつて、新たな一歩を踏み出すのに相応しい年です。

世界的な社会経済状況の不透明感が増す中、「人と人をつなぐ」、生命と財産を守る私共の共済活動の役割・意義を真摯に見つめ直し、更なる展開を期したいと決意をいたしております。





姫路市民共済生活協同組合
理事長
本上博一

年頭にあたって

謹んで新春のお喜びを申し上げます。
昨年は、長引く景気低迷による雇用不安や消費の低迷の中、全国各地で梅雨による大雨・集中豪雨、記録的な猛暑、また多発する児童虐待や高齢者の孤独死などのニュースが紙上を賑わすなど、生活の先行き不透明感が一層広がった厳しい年ではなかったかと思えます。

また、昨年は、当組合が、創設55年を迎えた年で、新たな交通共済を開始した年でしたが、4月からは、契約者の保護を軸にした保険法が施行となった年でもありました。

新しい交通共済は、雇用不安や消費の低迷と保険法の施行が重なる厳しい環境の中でのスタートとなり、100%の目標達成には至りませんでした。関係各位のお陰をもちまして、組合員の皆様にも広く浸透し、手ごたえも実感したところでです。

本年も、昨年の成果を踏まえ、この新しい交通共済を軸に、火災共済にも積極的に取り組んで参りたいと考えております。同時に、引き続き、組合員の皆様から信頼される共済を目指して、更なる事業展開をして参りたいと考えているところでです。

本年も、関係各位の格別なるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



西宮市民共済生活協同組合
常務理事
河村英三

新年に思う

新年あけましておめでとうございます。
当組合は昨年創立50周年を迎えました。設立当時の資料を見て、改めて各種地域団体・関係者の皆様の組合設立に向けた並々ならぬ熱意とエネルギーを感じました。

時代は変容し、何事も世界のマネー経済に翻弄させられるこの頃ですが、私どもの小規模共済にとっては、資金力・物量では敵わないまでも、コミュニティを構成する人々や団体との繋がりを大切に、多くの方に支えられながら事業展開を図ることで、将来展望を切り開いていかざるを得ません。

「組織は人なり」と言います。組合の将来を担う新入職員の募集をしたところ応募作文の新鮮さ、真摯な取り組み姿勢に感銘を受け、若い人の持つ力に期待するところ大です。

新年は新しい仲間と共に課題に挑戦していきたいと考えています。

どうか本年も皆様のご指導・ご支援をお願い申し上げます。



兵庫労働共済生活協同組合
理事長
酒井行雄

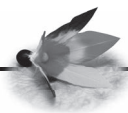
新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。
昨年は50周年記念事業を始めとする諸行事に、多大なご協力いただきましたことを心から御礼申し上げます。

本年は、2カ年の周年記念事業計画の仕上げの年となりますが、共済を取り巻く環境はさらに厳しさを増しており、団塊世代の退職を主要因とする課題に対して、各種対策を打ちつつも、思うような結果が出ていない現状です。

このような時にこそ原点回帰！組合員の総意で作られた労済の趣意である『助け合いの精神』を、私たち役員が今一度心に刻むとともに、職域・地域にもご理解いただきながら、活動の強化を図る所存です。

本年も、引き続きのご指導ご支援をいただきますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。





働く人の夢と共感を創造する



近畿労働金庫兵庫地区
統括本部
本部長
大槻信夫

新年明けましておめでとうございませう。
兵庫県は、労働金庫運動発祥の地であり、昨年十二月に六〇周年を迎えました。創業当時から「労働者の資金を預かり、必要としている労働者に資金を提供する」ことを通じて会員・勤労者の暮らしをサポートする役割を担ってきました。今のうちに厳しい時代だからこそ、ろうきんは働く人たちの立場に立って、生活を守るための相談活動を通じて応援する、『生活バックアップ運動』を展開しています。その結果、多くの組合員にご利用いただいております。その役割を果たせているのではないかと考えています。全国の労働金庫は、利便性の向上や有利な統一商品によるサービスの提供・経営のより一層の安定化を図るために、全国統合の準備をしていました。しかし、諸般の事情によって延期せざるを得なくなりました。労働金庫の全国統合は働く人達にとって悲願であり、将来の有るべき姿であることから、今後とも努力して参ります。本年も旧来よりのご支援・ご愛顧を引き続き賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

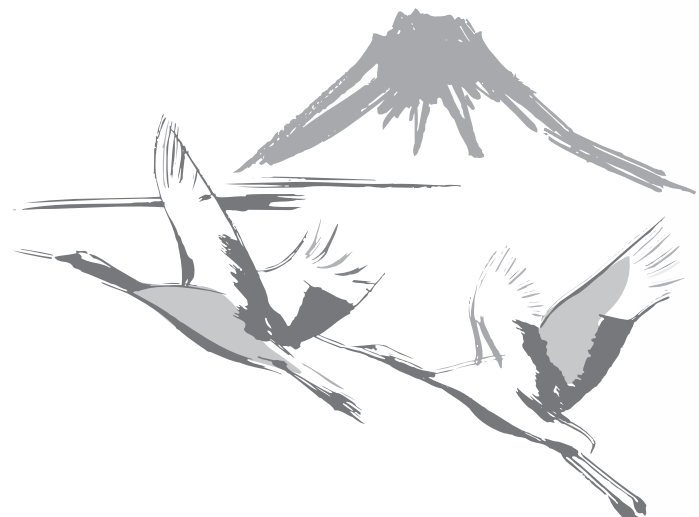


生産者と消費者を安心して結ぶ懸け橋に



JA全農兵庫県本部
県本部長
西畑義明

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素は、県内農畜産物をご愛顧いただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。本会は、「日本農業・地域社会を守り発展させること」「安全・安心な農畜産物を消費者の皆様にお届けすること」を基本的な使命として事業に取り組んでいます。昨今の農業をとりまく環境は、景気低迷などによる農畜産物の販売価格の下落、さらに農業生産コストの高止まりも相まって、農家経営は厳しい状況が続いており、国産農畜産物の販売拡大と生産現場におけるコスト低減に向けた取り組みの強化が求められています。また、昨年末には政府がTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉への参加の是非を検討するための協議開始を決定するなど、日本農業は今、厳しい局面に立たされています。こうした情勢のもと、私たち全農グループは、「生産者と消費者を安心して結ぶ懸け橋になります」という経営理念を掲げ、「国産農畜産物の販売力強化」を基本戦略とし、「販売力強化の具体化・実践」「生産基盤維持・拡大に向けた生産コストの低減」などに戦略的に取り組んでまいります。消費者の皆様のご負担にこたえるべく、今後とも一層の努力をさせていただきますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年あけましておめでとうございます。

2011年も～協同が息づく兵庫のまちづくりをめざして～

取り組みを進めます。

●兵庫県生活協同組合連合会 会員生協一覧

(会員生協の数値は、2010年3月31日現在)

種別	生協名	住所	郵便番号	電話番号	組合員数(人)	出資金高(千円)	事業高(千円)
地域購買	生活協同組合コープこうべ	神戸市東灘区住吉本町1丁目3-19	658-8555	078-856-1003	1,406,921	42,958,045	250,499,543
	佐曾利消費生活協同組合	宝塚市上佐曾利字大垣内16-1	669-1202	0797-91-0003	72	2,140	10,262
	生活クラブ生活協同組合都市生活	西宮市山口町上山口上芦原78-2	651-1421	078-904-3260	14,155	920,006	3,025,531
	生活協同組合コープ自然派兵庫	神戸市西区見津が丘3丁目8番5号	651-2228	078-998-1674	12,518	296,562	1,809,438
	生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合	神戸市西区見津が丘3丁目8番5号	651-2228	078-998-0850	※(連合会)10	622,800	7,465,000
職域購買	西宮市職員生活協同組合	西宮市六湛寺町10-21	662-0918	0798-35-3037	3,844	6,252	155,226
	兵庫県学校生活協同組合	神戸市中央区北長狭通4丁目7-34	650-0012	078-331-9305	71,206	109,964	2,518,809
	尼崎信用金庫職員生活協同組合	尼崎市開明町3丁目30番	660-0862	06-6412-5470	2,193	2,193	70,067
大学	神戸大学生生活協同組合	神戸市灘区六甲台町	657-0013	078-871-3691	19,886	370,054	2,665,590
	関西学院大学生生活協同組合	西宮市上ヶ原一番町1-155 関西学院内	662-0891	0798-53-7001	24,616	356,512	2,795,477
	神戸市外国語大学 消費生活協同組合	神戸市西区学園東町9丁目1番地	651-2187	078-794-8191	2,741	47,646	266,448
	甲南大学生生活協同組合	神戸市東灘区岡本9丁目6-4	658-0072	078-451-1371	10,259	276,231	1,108,832
	兵庫県立大学生生活協同組合	神戸市西区学園西町8丁目2-1	651-2197	078-795-0939	7,328	168,665	903,356
	神戸薬科大学生活協同組合	神戸市東灘区本山北町4丁目19-1	658-8558	078-441-7521	1,420	42,400	198,918
	神戸親和女子大学生生活協同組合	神戸市北区鈴蘭台北町7丁目13-1	651-1111	078-595-0303	1,634	33,445	109,733
	大手前大学生生活協同組合	西宮市御茶家所町6-42	662-0961	0798-33-4900	3,274	65,475	137,029
	園田学園女子大学生生活協同組合	尼崎市南塚口町7丁目29-1	661-8520	06-6422-5794	2,382	34,040	213,169
	甲南女子大学生生活協同組合	神戸市東灘区森北町6丁目2-23	658-0001	078-435-5270	3,851	77,065	217,556
	生活協同組合連合会 大学生協神戸事業連合	神戸市中央区宮本通7丁目1-13	651-0063	078-262-5600	※(連合会)11	143,600	188,553
	医療	神戸医療生活協同組合	神戸市長田区腕塚町2丁目2-10	653-0036	078-641-1651	45,901	1,618,884
尼崎医療生活協同組合		尼崎市南武庫之荘1丁目12-1	661-0033	06-6436-9500	46,563	1,767,663	6,382,522
阪神医療生活協同組合		尼崎市西川2丁目34番5号	661-0966	06-6494-8394	13,466	176,504	1,820,930
兵庫医療生活協同組合		神戸市兵庫区新開地6丁目 1-12-201	652-0811	078-577-1031	2,695	61,541	102,907
宝塚医療生活協同組合		宝塚市鹿塚1丁目18-6	665-0054	0798-57-3137	10,070	200,023	533,741
姫路医療生活協同組合		姫路市双葉町10	670-0832	079-285-3398	20,415	344,410	2,691,569
ろっこう医療生活協同組合		神戸市灘区水道筋6丁目7-11	657-0831	078-802-3424	18,367	446,817	908,317
たじま医療生活協同組合		豊岡市今森465-1	668-0851	0796-24-7007	2,841	59,665	229,708
共済	神戸市民生活協同組合	神戸市中央区江戸町92番地 神戸市役所4号館7階	650-0033	078-391-4555	279,028	661,754	1,977,197
	尼崎市民共済生活協同組合	尼崎市昭和通2丁目6-68 尼崎市中小企業センター7階	660-0881	06-6481-0005	70,874	484,976	521,102
	姫路市民共済生活協同組合	姫路市安田4丁目1番地 姫路市役所北別館5階	670-0955	079-222-8877	70,743	298,689	197,143
	西宮市民共済生活協同組合	西宮市本町5番33号	662-0914	0798-23-5566	57,874	707,344	239,130
	兵庫労働共済生活協同組合 (全労済)	神戸市中央区中町通4丁目1-1	650-0027	078-371-6502	444,175	3,129,180	100,556
生協以外	近畿労働金庫兵庫地区統括本部	神戸市中央区橘通4丁目2-10	650-0016	078-371-1201	(近畿) 1,502,849	(近畿) 15,994,103	(融資高) 1,268,026,815
	全国農業協同組合連合会 兵庫県本部	神戸市中央区海岸通1番地	650-8666	078-333-6000	(県本部) 22	(全国) 115,290,900	(県本部) 78,163,245
	兵庫県生活協同組合連合会	神戸市中央区下山手4丁目16-3 県民会館4階	650-0011	078-391-8634	(連合会) 34	8,670	

2010年度 兵庫県生協連・第3回理事会報告

- I. 開催日時 2010年12月6日（月）午後3時～4時58分
II. 開催会場 兵庫県民会館 12階「1201」
III. 出席者 浅田会長理事、寺尾副会長理事、大西専務理事、板崎、古河、山田、山岸、木村、高橋、福島、竹中、大槻（以上、理事）本上、金丸、秦（以上、監事）

〈報告事項〉

- (1) 「会員生協の概況報告」について、各出席役員より報告
- (2) 前回理事会～12月上旬までの兵協連諸行事・諸活動報告
- (3) 2010年度兵協連上期決算報告・監査報告
- (4) 第9回兵庫県健康福祉部・兵協連理事会との懇談会開催報告
- (5) 兵協連60周年記念事業報告
- (6) 第2回兵庫JCC幹事会開催報告
- (7) 2010年度兵協連役職員体育大会開催報告
- (8) 2010年度兵協連生協（協同組合）間連帯の実態調査報告
- (9) 2010年度兵協連研修実施報告と計画（案）
- (10) 兵協連2010年度上期活動報告のまとめと2011年度活動計画（案）づくりに向けて
- (11) 兵協連2010年度12月～3月行事スケジュール
- (12) 第3回生協対策資金貸付審査会報告
- (13) 日本の生協の2020年ビジョン第一次案について

〈協議事項1〉 兵協連2011年度主要スケジュール（案）について

〈協議事項2〉 全国実践交流会「組合員の参加と組織」セミナー参加費補助について

〈協議事項3〉 「NPO法人ひょうご消費者ネットシンポジウム」開催後援について

2010年度「兵庫JCC協同組合研究・交流会」のご案内

兵庫県生協連は、兵庫県農業協同組合中央会、兵庫県漁業協同組合連合会、兵庫県森林組合連合会などとの連携をすすめてきました。各団体との連携を深めるために、2008年度・2009年度に続いて下記の通り研究・交流会を開催いたします。

是非ご参加ください。

記

1. 目的 より多くの生産者と消費者が直接、意見交換することでお互いの立場を理解し合い生産活動および消費行動に生かす。
2. テーマ 「環境保護・食の安全・食育など、地域や暮らしに貢献する取組みを協同組合間で連携してすすめます。」
3. 日時 2011年2月21日（月）10：00～14：30
4. 場所 コープこうべ協同学苑
5. 参加者 生協・農協・漁協・森林組合の役職員・組合員・生産者
6. 内容（予定）
10：00～ 開会あいさつ
10：05～ 講演：講師 神木 千鶴 氏（日本食文化環境研究所代表）
12：00～ 昼食：兵庫県産の食材を使って作った昼食
12：40～ 意見交換
13：50～ 感想発表
14：25～ 閉会あいさつ
7. バス運行：専用バスを運行予定
8. 参加費 無料
9. 主催 兵庫JCC（兵庫県協同組合連絡協議会）

※お問合せ・参加申込み等につきましては、兵協連事務局・今井まで（電話：078-391-8634）

「金融・経済・社会状況学習会」開催報告

11月29日(月) 14時より兵庫県民会館において開催したこの学習会は、組合員の暮らしや生協の事業・活動に大きな影響をもたらす金融・経済・社会等の状況について専門分野からのご講演をいただき、理解を深めて事業・活動の推進に生かしていくことを目的に開催し、会員生協・会員団体、共栄火災海上保険(株)から役職員36名が参加しました。

当日は、日本銀行神戸支店営業課長・近藤秀昭氏を講師に「最近の金融経済の動向について」をテーマにお話をいただきました。講演では、日本経済の現状について、輸出入、海外経済、為替レート、個人消費、鉱工業生産・出荷・在庫、等のさまざまな数値の分析から、3ヶ月毎に出される地域別の景気判断の解説とともに、日本経済を見る当面のポイントとして、中国・アメリカなどの海外経済の動向、円高の推移、エコカー補助金・エコポイントなどの政策効果の影響(深さと期間)の3つを挙げられました。

また、当面(1~2年先頃まで)の景気の展望を前提とした、海外経済・国際金融資本市場の動向、日本の経済・物価情勢の見通し、そして日本銀行が行う金融政策運営についてわかりやすくお話をいただき、今後、日本経済が直面する最も重要な課題は、潜在成長率や生産性の引き上げ(新しい市場・消費の創造)であると述べられました。最後に、兵庫県の経済動向について「エコカー補助金・エコポイント対象の産業がなく、製造業の設備投資もすすまない中で、兵庫県は全国より経済の回復が遅くなっているが、兵庫経済が生き残るために、今後は需要の変化にあわせた『変化』と『自立』した経営、得意分野に力を集中していく『選択と集中』でナンバーワン・オンリーワンを目指し、この状況を『自らを変えていくチャンス』ととらえて取り組んでいただきたい」と締めくくられました。

参加者からは「金融経済のまとまった話を聞く機会を持って有意義だった」「先行き展望は、厳しいものと思う。しばらく我慢の時期が続くと判断せざるを得ない」など感想が寄せられました。



1億円紙幣の見本を見せながらお話をされる、日本銀行神戸支店 近藤営業課長

兵庫県・兵協連共催 第13回監事研修会を開催



12月1日(水) 午後2時から兵庫県民会館において兵庫県・兵庫県生協連共催による2010年度監事研修会を開催しました。この研修会は、生協運営の健全な発展に果たすべき監事の役割と監査の実務のあり方を学び、今後とも、健全な生協運営を実施していただく一助にと計画したもので、今年で13回目の開催になります。当日は、12生協から19名が参加しました。

冒頭の兵庫県生協連・大西専務理事の開催挨拶につづいて、兵庫県健康福祉部生活消費局消費生活課・東元課長様より「社会経済情勢の変化に対応していく必要があるとのことから経営、責任体制の強化を目指して、平成19年に生協法が大改正され、監事の役割・責任がますます重要になってきています。そのような中で、本日の研修を有意義なものにしていただき、今後とも生協の円滑な運営にご尽力いただければと思っております」と挨拶をいただきました。

次に、「指導検査で見受けられるよくある問題点と対応内容」と題して、兵庫県健康福祉部生活消費局消費生活課 消費生活係長・木村晶子氏、消費政策係主査・奥本ゆか氏、林 伸男氏より指導検査における指摘・講評事項の概要について「管理運営面」「経理面」の2つの側面から、問題点とコメントを具体的に解説いただきました。

最後に、MMコンサルティング・三宅充氏により「改正生協法施行後の監事業務の注意点」をテーマにしたお話に続いて、兵庫県・兵庫県生協連が作成した「監事監査チェックリスト」を参照にしながら、監査する上での注意点などについてお話をいただきました。

また、今回の研修会では、グループディスカッションの時間を新たに設けて、理事会への出席状況や監事の職務で問題の思っていることなどについて意見交換を行いました。

参加した役職員・監事からは、「他生協の状況を聞いて参考になった」「県からの検査に対するポイントが理解できた」などの感想が寄せられ、実りある研修会となりました。

「実務と監査のポイント」 「指導検査で見受けられるよくある問題点と対応内容」



健康福祉部生活消費局生活課 木村係長



MMコンサルティング・三宅氏

生活協同組合コープこうべ

歌あり笑いあり

「大丈夫だよ、がんばろうっ！」講演会を開催

コープこうべは、昨年2月に兵庫県と「がん検診受診率向上推進協定」を締結。この間、組合員様や職員にがん検診の受診を呼びかけてきました。その一環として、12月7日（火）東灘区のうはらホールにて、㈱コープエイシスと共催し、がん検診受診率向上の講演会を開催しました。

第1部では兵庫健康福祉部の田所昌也さんが、がんの罹患状況や県民の検診受診率が全国でも下位にあること、受診率向上のための取り組みなどについて報告。

第2部は、厚生労働省「がんに関する普及啓発懇談会」のメンバーでもあるタレントの山田邦子さんによる講演。出演したテレビ番組をきっかけに、乳がんを自己検診で見つけてから手術までのエピソードをユーモラスに語り、「乳がんは、早期発見で99パーセント助かります。今日

来てくれた人は、ぜひ周りの人に受診を呼びかけて」と、受診の必要性を訴えました。さらに、「笑ったり、歌ったりすると免疫力がアップするそうです。今日ここでお会いしたのも何かの縁、一緒に歌いましょう」と、客席を3つのグループにわけ、

『春が来た』『夏は来ぬ』『雪』を輪唱。最後自ら作詞した『しあわせの青い鳥』を披露し、会場は大きな歌声と拍手に包まれました。

また、会場入口には乳がんの触診モデルやがんを知るためのパネル展示、山田邦子さんの著書の販売などがあり、多くの組合員が足を止めて熱心に見ていました。

（通信員 榊原昌子）



甲南女子大学生活協同組合

「就活サプリ塾2012 in 甲南女子大学」

を開催しました

昨年11月20日（土）に、大学就職部就職課にご協力いただき、学生による学生のための就活セミナー「就活サプリ塾2012」を行いました。中心となって企画したのは就職活動サークル【就勝会】の3・4回生の学生スタッフ15名で、当日は71名の参加がありました。

今回お呼びした企業は5社と小規模ですが、だからこそ参加者の一人ひとりが就活というものと向き合うことができたのではないかと思います。さらに企業説明会に留まらず、

はるやま商事株式会社による就活スタイル相談会や、スタジオリティーフによる就活へアメイタ相談会も実施しました。まだ慣れないスーツの着こなしや、普段のカジュアルメイ

クとは違う就活用へのアメイタを教えてください。とても参考になったようでした。また、甲南女子大学の卒業生を招いて就職活動時や就職後の体験をお話してもらえる場面も設け、「甲南女子ならではの」企画になりました。先輩から後輩へ思いや経験を伝えられる場面はとても貴重です。こうしたつながりを通して、

これからの就職活動がただの心掛けではなく、仲間と一緒に向上心を持って取り組めるようになればと思います。

アンケートでも「先輩に実体験を聞けて楽しかった」「これからスーツを買って就職活動を行っていくこと」などの声をいただいています。

その意欲を持続できるよう、これからも学生と一緒に多くの機会、場面をつくっていきたいと思います。

（理事 塩田恵美）



JF 兵庫県漁業協同組合連合会

「虹の仲間」で森づくり ～グリーンピア三木でケア活動実施～



除伐のお陰で日が差ししてきました

天候に恵まれた12月4日(土)、グリーンピア三木(三木市細川町)の一角にある「漁業者の森」にて、漁業関係者・消費者の皆さんと一緒に、森のケア活動が行われました。

この活動は漁業者と消費者が共に手を携えて、豊かな海を支える森を育てていくことを目的に、コープこうべとJF兵庫漁連が共同で取り組んでいるもので、今年で4回目を数えます。

朝の集合時間には県下各地から約180名の参加者が、ヘルメットを被り、腰にのこぎりを装備して集合、準備体操のあとNPO法人「ひょうご森の倶楽部」の皆さんに誘導され森に入りました。作業は18班に分かれ、常緑樹を中心に除伐を行いました。当日はやや冷え込みましたが、参加者は時間いっぱいまで作業に汗を流していました。その甲斐あって、森には作業前に比べ明るく日が差すようになり、残った木々が成長しやすい環境となりました。

作業後の昼食は、事務局が用意した兵庫県の海の幸を中心とした食材でバーベキューを行い、参加者は、日本海のベニガニ・ハタハタ・ヤマガレイの他、室津のカキ、明石ダコなどをふんだんに

使った料理を味わいました。今後も、この活動が新たな仲間を迎え、さらに輪が広がっていくことが期待されます。



お楽しみの日食です

JA 兵庫県農業協同組合中央会

「淡路島たまねぎ」地域団体 商標取得を店頭でアピール ／神戸市で販売促進

JAあわじ島は11月26日～28日の3日間、神戸市内のコープこうべシア店で地域団体商標を取得した「淡路島たまねぎ」の宣伝をしました。POP(購買時点広告)やレシピに地域団体商標登録をしたことを記載し、店員が来店客に説明。JAの倉本満之組合長は「淡路島産野菜の販売強化のため、大消費地での積極的な販売促進活動で消費拡大を図りたい」と話しました。

同店の「ひょうご発野菜まつり」に参加しての取り組みで、この日はタマネギの他、レタスなど淡路島産の野菜を宣伝しました。

野菜売り場では、タマネギを使った料理の試食やレシピを配るなどして淡路産をアピール。

特にタマネギは、10月26日に「淡路島たまねぎ」として地域団体商標が特許庁から承認されたこともあり、大消費地でのPRに勢いをつけた。同JAのキャラクター「サンちゃん」も登場。「淡路島たまねぎ」を含む1000円以上の購入者には抽選会に参加できるなどの企画も盛り込みました。



「淡路島たまねぎ」をPRする
JAあわじ島のマスコット「サンちゃん」



〈くらしのほっとライン〉

悪質なカニの勧誘販売！

質 問

近所の知人（70代 女性）にカニの電話勧誘があった。知人の話によると電話で最初に「お世話になっています」と言われたので知り合いからの電話だと思い話を聞いていたところ、途中から「カニ等の生鮮食品の勧誘の話」に変わってきた。知人は申込みの意思表示をしていないにもかかわらず、相手は、突然「明日の午前中に発送します」と告げ電話を切ってしまったようだ。

事業者名、電話番号とも不明。もしカニが送られてきたらどうすればよいか。

【回 答】

「カニを買わないか」「お世話になったからカニを送る」と電話があり、強引に契約させられたり、断ったのに商品が届いたりするという相談が数多く寄せられています。

その特徴は（1）知人をよそおい世間話をした後でカニを送ると告げる、（2）贈答品であるかのように思わせ、電話を切る直前に金額を告げる、（3）連絡先を尋ねても答えない、（4）高齢者に被害が集中している、などです。

このような電話勧誘を受けた場合、必要がなければきっぱりと断ることです。

断っているにもかかわらず商品が送りつけられた場合は、受取拒否をしましょう。契約は成立しておらず、商品を受け取る義務や代金支払の義務はありません。また、電話で勧誘され、承諾してしまった場合でも、契約書面を受け取ってから8日以内であれば、クーリング・オフ（無条件解約）が可能です。

代金引換便で送りつけられるケースがありますが、いったん支払ってしまうと代金を取り戻すことは非常に難しくなりますので、ご注意ください。

不審・不安な点があれば、お早めに最寄りの消費生活相談窓口にご相談下さい。

（兵庫県生活科学総合センター）

MOVE

内閣総理大臣認定 適格消費者団体特定非営利活動法人ひょうご消費者ネット第7回シンポジウム

リボ払いの落とし穴 ―クレジットのリボリング払いの問題点―

リボリング払い式クレジットカードの利用が増加しています。しかし、月々の支払いが一定というメリットばかりが強調され、システムがよく理解されていないため、トラブルも多くなっています。本シンポジウムは、リボリングの仕組み、トラブルや利用の実態、問題点等を多方面から検討し、法律上の問題点を浮き彫りに議論を深め、今後のトラブル防止につなげていきたいとするものです。

日時：2011年2月27日(日) 13:30~16:30

会場：兵庫県学校厚生会館大会議室(2階) 神戸市中央区北長狭通4丁目7-34

TEL 078-331-9955



プログラム

- 基調講演「クレジットカードリボリングシステムの問題点」 名古屋大学大学院法学研究科教授 千葉 恵美子氏
 - リボリングの実態調査報告 特定非営利活動法人消費者情報ネット(CAT研)
 - パネルディスカッション「リボ払いの落とし穴〜クレジットのリボリング払いの問題点」
- コーディネーター：弁護士 平田 元秀氏 / パネリスト：名古屋大学大学院法学研究科教授 千葉 恵美子氏、弁護士 岡田 崇氏、三井住友カード株式会社お客様相談室室長 中野 恵造氏、特定非営利活動法人消費者情報ネット(CAT研)

◆定員：約130名 ◆参加費：無料 ◆主催：特定非営利活動法人ひょうご消費者ネット

◆申込方法：氏名・TEL・住所を明記の上①〜③いずれかの方法でお申込ください。

①FAX：078-361-7228

②郵送：〒650-0022 神戸市中央区元町通6-7-10 元町関西ビル3階 かげやま司法書士事務所内 特定非営利活動法人ひょうご消費者ネット事務局

③メール：E-MAIL：office@hyogo-c-net.com

◆締め切り：2月21日(月) 必着(ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。定員オーバーでお断りする方のみ返信します。)

◆お問い合わせ：電話078-361-7201 (お電話でのお申込はご遠慮ください)

「ひょうご消費者セミナー2010」開催のお知らせ

「無縁社会」。社会の急速な変化によって、人と人とのつながりが希薄になり、以前の地域力が失われつつあります。しかし、身近な消費者トラブルに対抗するには地域の力は欠かせません。どのようなまちづくりが、消費者トラブル解決の近道となるのか。「ひょうご消費者セミナー2010」では、地域社会の再生について考えます。

日時：2011年3月18日(金) 午後1時~3時半

会場：兵庫県民会館 神戸市中央区下山手通4-16-3JR元町駅より徒歩7分



プログラム

〈講演会〉「消費者被害を防ぐまちづくり」

特定非営利活動法人ひょうご・まち・くらし研究所 常務理事・常任研究員 山口 一史氏
1941年神戸市生まれ。神戸大学文学部卒。神戸新聞経済部長、論説委員、情報科学研究所所長、ラジオ関西社長などを経て、特定非営利活動法人ひょうご・まち・くらし研究所常務理事。『阪神・淡路大震災10年〜新しい市民生活のために〜』(共著、岩波書店)

〈報告〉*消費生活相談窓口の現場から

*企業ポイントはおまけ? (訴訟提訴から消費者団体訴訟制度を考える)

*あなたのまちはどうなってる? (地方消費行政訪問調査の報告：生活協同組合コープこうべ)



◆定員：160名 ◆参加費：無料

◆主催：生活協同組合コープこうべ、消費者支援機構関西(KC's)、ひょうご消費者ネット、兵庫県生活協同組合連合会、

◆後援：兵庫県 神戸市

◆締め切り：2月26日(土) (定員になり次第締め切らせていただきます)

◆申し込み方法：お電話にてお申込み下さい。兵庫県生協連 Tel 078-391-8634

※定員は4つの団体をあわせただけの人数です。お早めにお申し込みください。

県連日誌

1月8日(土) 新春トップセミナー (県民会館 福)

賀詞交換会 (県民会館 鶴)

1月13日(木) 14日(金)

日本生協連・全国政策討論集会 (東京)

1月18日(火) 兵協連ピースアクション委員会 (県民会館 902)

1月19日(水) 21日(金)、25日(火) 26日(水) 初級経理学校(県民会館 1202)

1月24日(月) 関西地連・近畿地区区上演習 (和歌山)

1月27日(木) 生協活動委員会(県民会館 ばら)

編集後記

北山は、何でも食べますが……唯一「嫌い」と公言するものは「栗料理」と、騙されて食べたおせち料理の「慈姑(くわい)」です。でも母の「食べないと、この一年間芽が出ないのよ!」の言葉は、ほぼ脅迫に近く……「一年間も後悔するくらいなら……」と毎年、嫌々食べています。海老は、長寿。数の子は、子孫繁栄。黒豆は、まめまめしく。蓮根は、将来を見通せるように。栗きんとんは、金運を招く。……先人がいろいろな意味を重ねた縁起物の数々。慈姑を嫌々食べながら、ふと考えた「一大好きで。毎年欠かさず食べている「栗きんとん」は、実際に金運を招いているのだろうか……」との疑問に、だからって食べないで金運が下がった証明をするのも恐ろしいので、今年も例年通りの北山です。

2011年が皆様にとって良い一年でありますように、本年も兵協連と「兵協連だより」をよろしくお願いたします。(北山)